

太田青年会議所 2026 年度 理事長基本方針

第 62 代理事長 高橋 佑介

青年会議所に入会して以降、様々な活動を通して今まで考えたことが無い、しかしとても大切な感覚を得ることができました。それは国、地域、家族、そしてこの太田青年会議所、様々な単位における歴史に想いを巡らせるということです。そして自問自答するのは、その長大な歴史の中に身を置く、私達の役割とは何なのだろうということです。全ては脈々と受け継がれてきたものの中に私達は生かされているのです。

「明るい豊かな社会の実現」この抽象的な、しかし崇高な理念を掲げる青年会議所としての理想的な地域を実現するためには、私達青年は何を行るべきであろうか。それは社会を見つめ、知見を深め、不断の行動によってリーダーを輩出し続けることに他なりません。あらゆる時代、国、地域は、その時々のリーダーたちの志と行動によって形づくられました。だからこそ、「より良い社会をつくっていこう」とする志を持ったリーダーを育成することこそが、明るい豊かな社会の実現を目指す私達における最大の使命です。

私は 2015 年に太田青年会議所へ入会いたしました。いずれ父の会社を引き継ぐものとして、リーダー経験だけはしてみたいという極めて個人的な理由で入会いたしました。しかし委員長職を拝命したある日、私の軽率な行動に対し、ある先輩から厳しい叱責を受けました。「そんなやつに人はついていかない。お前には協力しない。」その言葉は、青年会議所活動をただの地域奉仕活動としか捉えていなかった私に大きな衝撃を与えました。そこから、自身の在り方と本気で向き合う契機をいただいたのです。その先輩は、決して妥協することなく青年会議所運動に真摯に向き合う方であり、その背中を通して「人としてどうあるべきか」を学ばせていただきました。そして、新たな役職に挑戦するたびに、私は青年会議所の持つ無限の可能性に魅了されてきました。多様な主体を巻き込み、社会的インパクトを創出し、時に苦しい会議に耐えながらも運動を成し遂げた経験は、何にも代えがたい学びとなり、かけがえのない仲間との絆を育んできました。2024 年には日本青年会議所の国際グループの委員長に挑戦し、青年会議所の国際の機会をまさに第一線で感じることができました。海外の JC メンバーとも JC という共通言語を用いて多くの交流を行うことができます。まさに手を伸ばせば私達は簡単に世界とも繋がることができます。

私が青年会議所から学ばせていただいたあらゆる経験は、人としての人格形成の在り方から社会運動の起こし方、異文化交流・相互理解、国際感覚を養う大切さなど、一概に表

現することはできません。ただそれは特別なことではなく、誰もが一步踏み出せば挑戦できる機会がそこにはあります。そして地域を率いていくリーダーにはそういった幅広い知見が必要であると思います。一人ひとりが自己を研鑽し、お互いを高め合い、地域をより良くしていきましょう。

【運動の想いを継承し、太田青年会議所を永続させる】

青年会議所の最も特徴的なところは単年度制と40歳になつたら誰もが卒業しなければならないというその期限です。それにより組織は常に新しく、フレッシュに保たれ、多様な価値観が混ざり合う若い組織となっています。しかしながらその制限があるために会員拡大が常に求められています。私達の運動の原資はメンバーの人的資本に他なりません。様々な背景をもつメンバーが集い、多様な交流が生まれ互いを磨き合いながら運動を開拓していくことでより力強い運動を推進することができます。

そして、私達は「青年に発展と成長の機会を与えること」を使命に掲げています。青年会議所には多くの出会いがあり、その一つひとつの出会いが私達を成長させてくれます。会員拡大にメンバーが関わることで、他者への意識変革の機会を与えているのです。拡大活動の結果として、まちづくり運動はより強力になり、また多くのリーダーを輩出し続けることこそがこの地域を継続的により良くしていくことに繋がります。この太田青年会議所を継承するためにも、地域をより良くするためにも、一人でも多くのメンバーを募り、この太田青年会議所を未来へ繋げていきましょう。

【組織を再定義する】

青年会議所活動の目的は継承・継続するべきものである。しかしながらその手法は時代とともに大きく移り変わってきました。青年会議所は若い組織であるからこそ時代に合った手法を積極的に活用し、組織をアップデートして行かなければなりません。

太田青年会議所は当然のごとく会議によって物事を決定しています。そして、あの独特な緊張感の中で行われる会議は、私自身を大きく成長させてくれました。しかし、長い時間・多くの回数をかけて行う会議は一方で、役職への挑戦を阻んでいることも事実であることを考えなければなりません。私達はそれぞれに生業があり、大切な家族も友人もいます。組織の在り方を改めて見直すことが必要であると思います。しかしながら決して変わてはならないことは、私達が大切にしてきた価値観と厳しさであり、その仕組みの再定義が求められていると考えます。

また単年度制であり、毎年担当者が変わるこの青年会議所において重要なのは、属人化しない仕組みづくりであると考えます。基礎となるベースがしっかりとあり、その上に多様なメンバーの個性が生き、毎年アップデートされた組織運営がなされるべきです。伝統・想いを大切にしながら、誰もが挑戦できる、伝統と革新が調和する運営体制を目指して参りましょう。

【プランディングデザイン】

私たちの「ブランド」とは一体何でしょうか。企業でいえば、商品やサービスの価値を象徴する印象であり、社会からどのように認知され、評価されているかという存在意義そのものです。では、「太田青年会議所」と聞いて、地域の人々はどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。私たちが目指すべき姿は、単なるボランティア団体でも、内向きな組織でもなく、「社会に必要とされ、信頼されている品格ある集団」であると考えます。地域にとって不可欠な存在でありたい。そう願うならば、私たち自身がその価値を自覚し、伝える努力を怠ってはなりません。

現代において、情報発信の手段は極めて多様化しています。SNS やウェブサイト、紙媒体やイベント、さらには地域企業・団体との連携によるコラボレーションなど、目的や対象に応じた柔軟なアプローチが求められます。だからこそ、私たちは明確な意志をもってプランディングデザインを構築しなければなりません。継続的な情報発信を通じて、私たちの姿勢や取り組み、想いを地域内外に届けていくことが、結果として「太田青年会議所」というブランドイメージをかたちづくっていくのです。

地域の未来を見据え、真摯に運動に取り組む私たちの誇りを、言葉にし、行動にし、そして発信というかたちで伝えてまいりましょう。小さな発信の積み重ねが、やがて地域に根ざした強いブランドとなり、運動の輪をより大きく広げていくと確信しています。

【未来への投資】

少子化がすでに避けられない現実となっている今、社会をより良くするために大切なことは教育、すなわち未来への投資です。人は若ければ若いほど、大きな可能性を持っています。地域の子どもたちがあらゆる可能性を持って、今後の地域をつくっていく存在です。

私は今までの自身の経験、また青年会議所の活動において多くの国際交流の機会を享受してきました。世界とつながった時、日本そしてこの郷土の素晴らしさに気づくとともに、また慎ましさからくる日本人的な課題に直面してきました。

幼少・青少年期の過ごし方はまさに原体験となり、あらゆる経験が自身の人格形成に影響し、今の自分をつくっています。すなわち、いわゆる学校の勉強、机上の勉学が重要なことはもちろんのこと、非日常的な経験や自分のコミュニティを飛び出す経験、そして文化的背景の異なる相手と対峙し、自らの言葉で想いを伝える、そのような力を育むことがこれから時代のリーダーには不可欠です。そのためには、私達大人が地域の未来をつくるために、地域の子どもたちへの原体験の提供こそが私たち青年会議所に求められていると考えます。

青年会議所にはその歴史の中でつくられた国家を越えた民間外交ネットワークが存在します。私達はそのネットワークをより強固にしながら、地域の子どもたちへ異文化交流の

機会を提供し、その子どもの世界を拡げ、次世代のリーダーをつくる種を植えていきましょう。

【地域の社会課題を解決する】

この地域には様々な社会課題が存在します。それは少子化問題や都市部への人口流出、特定の産業構造への依存等の社会構造的な課題から、より小さな公共サービス、移動の安心安全や防災に関する課題、生活格差から生じる問題等より生活に密着している社会課題もあり、多種多様です。これらの課題は、時代の変化や地域特性によって複雑に絡み合っています。しかし、だからこそ青年会議所が果たすべき役割があります。私たちは、これらの課題に対して無関心でいることなく、地域の現実と真摯に向かい、自らが変革の起点となる覚悟をもって行動する必要があります。まずは課題を掘り起こし、その本質を見極める。そして仮説を立て、社会実験を通して課題の可視化と解決の糸口を探していく。それこそが、私たちに求められる地域変革の姿勢です。

そしてそのために重要なことは、行政や自治体、地域企業、学校、福祉団体、市民グループなど、多様な主体と信頼に基づくパートナーシップを築き、互いの強みを生かしながら手を取り合って運動を進める必要があります。私達の運動を私達だけで拡げるには限界があり、どのようなパートナーと物事を進めていくかを考えることで運動はより大きくなります。

私たちは地域の未来を担うリーダーとして自らが行動の旗振り役となり、地域に必要な変化を自らの手で生み出していくべき存在です。地域に根ざし、対話を重ね、そして共に挑戦する。その積み重ねがやがてこの地域の価値を高め、誰もが誇れるまちづくりへつながっていくのです。

【コミュニティ意識の醸成】

私達の青年会議所運動の最大の根源はその人的資本にあります。そしてその人的資本を最大化するために必要なことはメンバー同士が互いを深く理解し合い、信頼と共感に基づく強固なコミュニティを築くことです。

私達はなぜこの青年会議所に入会したのでしょうか。その動機は人それぞれであり、同世代の仲間と出会いたい、自己研鑽の機会を得たい、あるいはビジネスのきっかけを掴みたいという想いからであったかもしれません。どのような動機であれ、青年会議所に所属していることが、個人にとって意義あるものであることが、結果として組織全体の力となり、運動をより強力なものとしてくれると考えます。そのためには、メンバー一人ひとりの資質や特技、ビジネス分野などに光を当て、互いの学びや気づきを共有できる機会を創出することでより強いコミュニティ意識を醸成できると考えます。

また、私達には長い歴史があり、その歴史の中で青年会議所運動に奔走した数多くの素晴らしい先輩がいます。青年会議所には青年会議所でしか得られない共通言語を用いた交

流があります。先輩方との交流はまさに、会に所属していないと得られない貴重な財産であり、より多くの先輩との交流が現役の青年会議所活動に深みをもたらすことができると言えます。

私たちの組織をより強固にする、そのような交流を生み出すためには、「起点」の存在が極めて重要です。誰もが主役となり、互いに学び合い、高め合う。そんな温かく、風通しのよいコミュニティを築き上げ、私たちの運動をより力強く持続可能なものとしてまいりましょう。

【おわりに】

青年会議所は、時代ごとに異なる社会課題と向き合いながら、志ある青年たちによって連綿とその歩みを続けてきました。そして現在の私たちは、まさにその偉大な歴史の延長線上にいます。私たちが描く「明るい豊かな社会の実現」は、一朝一夕に成るものではありません。地域に根ざし、仲間とともに真剣に語り合い、高い理想を描いて挑戦をし、ときには失敗しても学び、また立ち上がる。その積み重ねの先にこそ、地域の未来が築かれていく信じています。

その第一歩は、決して難しいものではありません。まずは一步、青年会議所の活動に参加してみるとこと、そこから全てが始まります。事業に出席し、仲間と意見を交わし、運動の場に身を置くことで、きっとこれまでにない視点や想いが芽生えてくるはずです。そしてその経験こそが、自らを変え、地域を変え、未来を切り拓く原動力となっていきます。受け継がれてきた想いを胸に、誇りと覚悟をもって活動し、次代へとつなげていく。個人では成し遂げられないことも、志を同じくする信頼できる仲間がいれば成し遂げることができます。

この一年が私達自身の変化を生み、太田青年会議所が未来永劫地域に必要とされる存在であり続けられるよう共に歩んでまいりましょう。

自分たちに誇りを持ち、未来を描き、そして変化を起こそう。